

共同運営部門：感染症センター

ー概要ー

当感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。

2003年鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し、体制の強化を図っていたところ、2009年4月、豚由来による新型インフルエンザ(H1N1)が発生した。感染拡大防止のため当センターが中心となり、国内・地域への大きな役割を担った。新型インフルエンザ(H1N1)は世界中でパンデミックをひき起こしたが、病原性が高くはないことが判明した。

2010年4月1日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第44条の2第3項の規定に基づき、通常の季節性インフルエンザ対策に移行し、その名称については、「インフルエンザ(H1N1エイチイチエヌイチ)2009ニセンキュウ」となった。

しかし、高病原性鳥インフルエンザのヒトへの感染は依然報告されており、1・2類感染症や未知感染症の発生、侵入にも備え、受け入れ態勢の強化を引き続き行う必要がある。

その他、全国3か所、西日本唯一の特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、見学者の受け入れや、関西空港検疫所等関連機関との会議や訓練等も実施している。

ー実績ー

1. 感染症センター見学者

日時：2014年1月28日 火曜日
10時30分～14時30分

所属：奈良県立医科大学

人数：7名

内容：(午前) 講義：60分
センター内見学・防護服の着脱
(午後) 講義：90分
ヘリポート見学

2. 感染症センター 会議及び合同訓練

1) 2013年5月10日 関西空港健康危機管理連絡会議
場所：関西空港検疫所 CIQ合同庁舎4階 会議室

2) 2013年12月3日 関西空港検疫総合措置訓練
場所：関西空港検疫所 CIQ 合同庁舎 会議室

3. 感染症センター講演会

日時：2014年2月7日

講師：国立国際医療研究センター

国際感染症センター 忽那賢志医師

内容：一類感染症について

～ウイルス性出血熱を中心に～

4. 感染症センター入院者

(1994年10月～2014年3月まで 今年度新規患者なし)

疾患名	人数
細菌性赤痢	17名
アメーバー赤痢	1名
腸チフス	6名
コレラ	4名
SARS疑似症例	1名
新型インフルエンザ(A/H1N1) 疑似症例含む	2名
累計 31名	